

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成31年03月29日

計画の名称	連続立体交差事業（開かずの踏切対策）による踏切事故の解消及び安全・安心な地域づくり（防災・安全）												
計画の期間	平成28年度～平成29年度（2年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	大阪府												
計画の目標	鉄道を高架化して開かずの踏切を除却することにより、踏切事故の解消を図り安全かつ円滑な交通を確保するとともに、安全・安心な地域づくりを実現するものである。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	99,840	A	99,840	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H29末)
1	踏切事故件数の減少			
	踏切事故件数の減少	0%	0%	0%
2	踏切渋滞の解消			
	1日あたりの踏切遮断時間の減少 1日あたりの踏切遮断時間= 除却対象踏切の1日あたりの遮断時間[踏切交通実態総点検結果（H19.4公表）]×【除却済[0]、片側除却[0.6]、未完了[1]】	253h/日	253h/日	253h/日
3	事業費の進捗率			
	事業費の進捗率	2%	7%	7%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
・（大阪府地域強靱化計画）に基づき実施される要素事業：A全て・交通拠点連携集中支援事業創設に伴い、P38に移行								

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	H32				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-001	街路	一般	大阪府	直接	大阪府	S街路	改築	京阪本線連続立体交差事業(香里園駅～枚方公園駅付近)	連立 L=5.5km	寝屋川市・枚方市						99,800	1.2	-	
	A01-002	街路	一般	大阪府	直接	大阪府	S街路	改築	阪急京都線連続立体交差事業(摂津市駅付近)	連立 L=2.1km	摂津市						40	2.9	-	
												小計						99,840		
												合計						99,840		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 大阪府交通道路室で評価を実施	事後評価の実施時期 平成31年3月
	公表の方法 大阪府ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	鉄道高架化および開かずの踏切の除却により、踏切事故の解消を図り安全かつ円滑な交通の確保とともに、安全・安心な地域づくりの実現が図れた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年2月2日より、新たな社会資本総合整備計画「連続立体交差事業（開かずの踏切対策）による踏切事故の解消及び安全・安心な地域づくり（交通拠点連携集中支援）（防災・安全）」に移行し、継続して事業を実施。</li> <li>早期完成に向け着実な事業進捗を図っていく。</li> </ul>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	踏切事故件数の減少	
	最終目標値	0%
2	1日あたりの踏切遮断時間の減少	
	最終目標値	253h/日
3	事業費の進捗率	
	最終目標値	7%